



6年生の学級会～話し合い活動～

昨日19日(月)の6時間目は、6年2組の研究授業でした。さて、研究授業は、何のために行われるのでしょうか?研究授業の目的の一つとして、「学校の教育目標を具現化するため」ということが挙げられます。そう考えると、「わくわく」する学校創りのために、子供たちが「帯西レンジャー」と活躍する姿が、そこには見られなければなりません。さらに、研究授業を通して、教師の指導力のレベルアップを目指すことも目的の一つとして挙げられます。

研究授業では、学級会(話し合い活動)が行われました。議題は、「学級パワーアップ大作戦～教室の過ごし方について考えよう～」でした。学級会は、学級目標の「みんなのお手本になれるように」を意識しながら、子供たちからは活発な意見が出し合われました。

休み時間に「走り回らない」「大声を出さない」など、お手本としての姿を意識しながら意見を出し合った後は、それはお手本としてどうなのか喧々諤々(けんけんがくがく)意見を比べ合っていました。また、出されたルールを守るためにはどうするか?という話し合いでは「ポスターをつくる」「イベントを行う」「ペナルティをつける」などが出し合われましたが、「ペナルティ」に関しては、「ペナルティがあるから守るのでは、学級がパワーアップしないし、下級生のお手本にもなれない。」という意見が出され、一同共感していました。

決まったことを守るために「イベント的なこと(ポイントが溜まったら集会など)をする」「イベント的ではなくても牛乳で乾杯するなどでもいいのでは」など子供らしい柔軟な思考で、ルールを守るためにできることを考えていました。

このように、学級会は、子供たち自身が学級の問題と思ったことから始まり、議題を選んで、合意形成し、決まったことを実践し、振り返っていきます。子供たち自身が課題に気づき、子供たち自身が生活を創っていく経験を積み重ねていきます。

今回の学級会について、子供たちが帰った後に、全職員で授業研究会を行い、職員一人一人が授業への疑問を出し合ったり、改善点を述べ合ったりし、明日からの自分自身の授業づくりに活かすことができました。これからも全職員で、子供たちの子供たちによる子供たちのための学級・学校創りを考えていこうと思います。

今回も、子供たちが帯西レンジャーと共に活躍する学校創りを学校全体で取り組むことができる研究授業となりました。6年2組の皆さん、貴重な学級会を共有させていただき、ありがとうございました。

